

# あかまつ

豊岡小学校

校長室だより NO.51

R3. 1. 29

## スキー授業はじまる

冬休み終了後、スキー授業が始まりました。

昨年度は雪が積もらず、大台スキー場でのスキー学習が行えませんでした。また、たざわ湖スキー場でのスキー教室に備えて、事故防止の目的で、体育館にブルーシートや体操マットを敷いて、スキー靴を履いてストレッチをしたり、スキーを履いて歩く練習をしたりしたことが、懐かしく思い出されます。

さて、19日(火)、予報通り、朝から大荒れの天候でしたが、1時間目が始まる頃には青空が見えるなど、天気は回復しました。そこで、当初の計画通り(スキー山が混雑しないように、何時間目にスキー授業を行うかの予約制になっている)、1時間目に5年生がグラウンド横のスキー山にスキー授業に出かけたのですが…。



【授業を終えた5年生】

1時間目が終わる頃には、雪の降らない地域の人たちはお金を払ってでも体験したい見事な「地吹雪」状態になりました。



【授業に向かう1年生】

そして、2時間目は1年生がスキー山に出發。スキーという雪国のスポーツの楽しさと、地吹雪という雪国の厳しさを同時に体験

することになりました。雪の降らない地域からお嫁に来た方が、「雪寄せをしても、車を運転していても、泣きたくなる！」と冬の生活のつらさを語っていたそうですが、確かに、「雪の降らない地域に住みたい」と思ったことのある方も多いのではないのでしょうか。それでも私たちはここに住んでいます。さて、子どもたちはどう感じているのでしょうか？

## スキー学習

21日(木)に4～6年生、26日(火)に1～3年生が大台スキー場にスキー学習に出かけました。今回は、バスの中の「密」を避けるため、

全校を2日間で午前・午後と四つに分けて出かけました。

21日は曇っていましたが、仙北平野が見渡せるほど、スキーには絶好のお天気でした。午後からは、少し雨が降りましたが、まずまずのゲレンデ状況で、ほぼ、豊岡小学校の貸し切り状態でした。6年生は、仲良く、楽しそうに、伸び伸びとスキーを楽しんでいました。



【4年生と指導してくれた保護者の皆さん】



【5年生と指導してくれた保護者の皆さん】



【6年生と指導してくれた保護者の皆さん】



【水墨画のようなきれいな景色でした】

26日は、薄曇りのスキー日よりでしたが、気温が低く、ゲレンデはガリガリ状態だったようです。午後からは晴天となり、気温が高くなってき



【1年生と指導してくれた保護者の皆さん】

たため、スキーに削られた雪がゲレンデにたまっていましたが、2年生は伸び伸びとスキー授業を楽しんで帰ってきました。

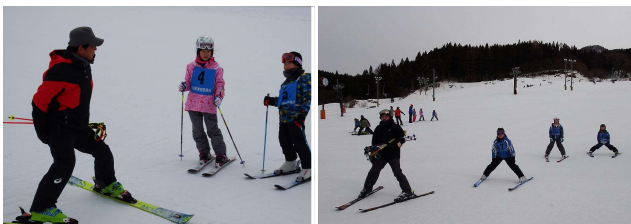


【3年生と指導してくれた保護者の皆さん】



【2年生と指導してくれた保護者の皆さん】

出発する時は、皆さん笑顔で手を振って出かけていきましたが、帰ってくる時は、言葉少なに下を見て、『『疲れた姿』はこんな姿です！』という様子でした。ですが、誰もケガすることなく、楽しくスキー学習ができたことが1番です。お忙しい中、ご協力くださった保護者の皆さん、本当にありがとうございました。おかげさまで！



【スキー学習の様子】

## シェイクアウト訓練

22日（金）午前、シェイクアウト訓練を行いました。これは、23日（土）に行われた第7回大仙市シェイクアウト訓練を受けて行ったものです。シェイクアウト訓練とは、大地震が発生したという想定で、決められた時刻に一齐に「3つの行動」（まず低く、頭を守り、動かない）をとり、家庭や会社などでいざという時の安全行動を確認するなど、短い時間でできる簡単な訓練です。

どの学年の子どもたちも真剣に訓練に取り組み、とても立派でした。「自分の命を自分で守る」こと



【5年生教室 訓練の様子】

ができる人になれるよう、各家庭でのご指導も、どうか、よろしくお願いします。

では、地震について一つ、問題です。

Q：「地震が来たら机の下にもぐる」と教えられていますが、机がない場所ではどうしますか？

※回答例は下にあります。

## ゆいゆいキャップ回収事業

本年度も、ゆいゆいキャップ回収事業にご協力いただき、ありがとうございました。

先日、社会福祉協議会から報告があり、本校のゆいゆいキャップ回収事業の成果は…

○回収量 55kg    ○金額 182円

…でした。売上金は、大仙市共同募金委員会へ全額寄付され、令和3年度の地域の福祉活動へ活用されます。

なお、先にお知らせしてありますが、ゆいゆいキャップ回収事業は今年度を最後に終了となりました。今までのご協力、ありがとうございました！

## クイズの答え

物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」空間を見つけ、揺れがおさまるまで様子を見ます。家の中では、狭い場所に柱が多い空間（玄関〔戸を開けてすぐに逃げられるようにしておきます〕など）が安全だと言われています。

ただし、家の2階にいる時、あわてて1階に避難するのは危険です。揺れが大きい場合、1階が押しつぶされてしまう場合があるからです。



なお、以前は、すぐに火を消すように教えられましたが、現在は「地震だ！まずは身の安全！そして、消火！」となっているようです。身の安全が第一です。

また、学校では、「揺れが収まったら校庭へ避難する」が一般的ですが、今の学校は耐震構造に優れていますので、「外に出るより、学校の中が安全」という考え方もあります。

いずれにしても、場所と状況を判断して、避難方法を選ぶことが大切です。

本校では前回、予告なしで、火災を想定して煙を発生させた避難訓練を行い、子どもたちが自主的に避難する訓練を行いました。今後も、いろいろな状況に応じて、自分（自分たち）で判断して行動する避難訓練を行っていきたいと考えています。ご家庭でも、いろいろな状況を設定した避難訓練を行ってください（地震、火災、水害など）。子どもの命を守るためのお願いです。